

地域の将来像:住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより

2023.1.15
第66号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

明けましておめでとうございます



例年のように新年のあいさつを交わしながらも、なかなか明るい気持ちになれない中で新しい年を迎えた方が多かつたのではないのでしょうか。

コロナは4年目に入り、いまだに感染の収まる気配が見えず、私たちの生活も一時ほどではないにし



ろ、何かと制約の多い状況が続いています。世界的には、ロシアのウクライナへの侵攻が始まってまもなく丸1年が経とうとしていますが、こちらも和平に向けての動きが全く見えず、十分な暖房もない中で厳しい冬の寒さに苦しむ現地の状況に心が痛むばかりです。これらに端を発する各種生活関連商品・資材の値上げは私たちの生活に多大な影響をもたらしていますが、身近なところではより大きな問題が生じています。それは、この小山田地域に限ったことではありませんが、少子化の問題です。半年ほど前に、昨年度（令和3年度）内に小山田地域で生まれたこどもの数が4人と聞き、大変驚きました。地域の基幹産業である農業の後継者は言うに及ばず、まさに地域存続の危機といっても過言ではありません。直ぐにこれを解決する有効な手立ては考えられないことから、当面はいまここに住んでいる方々が地域を担い、元気に暮らしていく以外に方法がありません。お互い健康に留意しながらこの1年を過ごされますようよろしくお願いいたします。

「紙ねんど」で2023年の干支の置き物づくり



12月26日、石鳥谷町在住の鎌田友律子さんをお招きし「紙ねんど工作教室」を就学前児童2名を含む16名の子ども達と親御さん11名の参加をいただき、2023年の干支「卯」の置物を作りました。昨年の干支「寅」よりも細かなパーツが多く、子ども達は頭



を抱えながら作品に取り組んでいました。前回参加された親御さんからも「今年はちょっと難しいね。」との声もありましたが、講師の説明を聞きながら、ひとつひとつ手順良く作っていきました。目、口、耳、足、手など、それぞれ個性豊かで、同じ物がふたつと無い作品が

出来上がりしました。参加者は作品を手に満足気に笑みを浮かべていました。



今年の「にこにこサロン」の締めくくりに



11月15日、今年の「にこにこサロン」の締めくくりとして、小山田駐在所奥谷巡査部長による「高齢者のための交通安全」と「特殊詐欺」のお話、小山田保育園年長児4名による「神楽」の舞い、そして地元南川目の菅原秋子さんが代表を務める「三尺会」の舞踊で楽しんでいただきました。

近年コロナ禍により、保育・学校教育施設行事での来場者制限や地域の祭りなどの中止により、子供やお孫さんの踊る姿を見る機会がめっきり少なくなり、久しぶりに



観た園児の可愛らしい舞いに拍手を送っていました。また、「三尺会」の舞踊ではイケメン男性の華麗な踊りに目を輝かせて見入っていました。



より安全な伐木作業を行うために



12月9日・16日・17日の3日間、わが流域環境ネットの佐井到さんと大桐啓三さんを講師にお招きし「チェーンソー取扱者安全衛生講習会」を開催しました。安全衛生講習会は、学科9時間・実技9時間の講習を



終了すると「労働安全衛生教育修了証」が交付されます。令和元年から開催し今年で4回目となり、今回の受講者を含め46名の皆さんが修了証を受け取っております。さて、2021年の県内における林業作業現場での、労働災害による死亡者は全国最多の5人（前年比1人増）となっているそうです。主な原因として、伐木が倒れる途中で他の立木に引っかかり、その処理作業中の事故が最も多いそうです。伐木作業を行う際は、今回学んだことに注意し、安全に作業を行っていただきたいと思います。



チェーンソー取扱(実技編)女性セミナー



昨年度要望があった「チェーンソー取扱女性セミナー」を11月6日に9名の参加により開催しました。「チェーンソー取扱者安全衛生講習会」では、学科・実技を併せて18時間の講習会となりますが、今回は実技を中心とした3時間の講習と



しました。講習会の冒頭で講師のわが流域環境ネット・佐井 到さんより、今回の講習会に参加した目的を尋ねられ、参加者のほとんどが「立木の伐木作業というよりは、家の周りの枝払いなど庭木の手入れをしたい」との回答でした。女性だけということもあったせいか、参加者から次々と出る質問にひとつひとつ分かりやすく答えていただきました。また、実技では初めての方が多く

最初は恐る恐るでしたが、操作にも徐々に慣れ、終始笑いの絶えない和やかな講習会となりました。



書道は自己を表現する芸術のひとつ



昨年度の「美文字レッスン」実用書道教室参加者から、次回は筆で半紙に文字を書きたいとの要望があり、11月4日から5回の日程で今年度の「書道教室」を11名の参加により開催しました。「書道」は、筆と紙を通して自己表現することを目的とする芸術なそうです。ただ文字を書くのではなく、

字に思いや感情を込めて書き、筆順や筆の持ち方といった基本的なことに加えて、自分の個性が出た作品を書くための技術を身につけること、また「習字」は字を習うこと、正しい筆順でお手本通りに書くことで、バランスよく綺麗に整った字が書けるようになることを目的としているそうです。今回参加された皆さんは、「止め・跳ね・はらい」に注意をしながら、筆先に気持ちを集中させ黙々と紙に筆を走らせていました。字を書くことの大切さやマナーや手書きの良さを知る講座となったようです。参加者から「楽しい時間を過ごせた」との感想をいただきました。



生活環境福祉部員が変わりました

令和4年11月30日を以て任期満了となり、本地区3名の民生児童委員がご勇退されました。長きにわたる活動に感謝を申し上げます。後任には以下の方々が就任されました。尚、民生児童委員の皆様には当会生活環境福祉部員をお願いしておりますので、就任に併せ12月1日付けで生活環境福祉部員の委嘱をいたしましたのでお知らせします。尚、今回委嘱した部員の任期は令和6年度通常総会終了までとなります。

【生活環境福祉部員】

前任者	後任者	民生児童委員担当地区
菅原友子	小野寺アサ子	石鳩岡・南川目
小田里江子	浅沼まゆみ	中川目・秋葉・駒形
今西優子	宮川美喜子	外谷地・北小山田



着衣着火にご注意を！



日に日に寒さが増し、ガスコンロの使用やストーブなどの暖房器具で火を扱う機会が増えています。空気の乾燥により火災が発生しやすい時季です。火を扱う際は以下のことに注意して着衣着火を防ぎましょう。

- ① 火に近づきすぎないようにしましょう。手を伸ばしたり、かがんだりすると気が付かないうちに火に接近していますので注意しましょう。
- ② ガスコンロ等を使用する際は、火力の調整と、こまめな消火を心掛けましょう。「ながら仕事」はせず、一度火を消しましょう
- ③ 服装に注意しましょう。袖口や裾が広がっている衣服、ストールなど垂れ下がるものは、火を扱う際には身に着けないようにしましょう。
- ④ 風が吹く日の屋外での焚火は、炎が着衣に着火し燃え広がる危険があります。

令和4年12月末現在

(): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	58 (-1)	84 (-1)	71 (0)	155 (-1)
第2行政区	146 (0)	196 (0)	188 (0)	384 (0)
第3行政区	155 (0)	208 (0)	227 (0)	435 (0)
第4行政区	111 (1)	177 (1)	164 (0)	341 (1)
計	470 (0)	665 (0)	650 (0)	1,315 (0)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



軽井沢つつみ(前田)のコガモ

～編集後記～

お正月恒例の箱根駅伝が関東学生陸上競技連盟加入大学のうち、前年度大会でシード権を得た10校と予選大会を通過した10校、関東学生連合大会の、合計21チームが出場し熱戦が繰り広げられました。今年の第99回大会は駒沢大学が2年ぶり8度目の総合優勝を成し遂げました。箱根駅伝は1920年に始まり第1回大会は、早稲田、慶応、明治、東京高等師範学校(現在の筑波)の四大学で競われ、名称は「四大学駅伝競走」だったそうです。青山学院の原監督は「来年の第100回大会を節目に全国化すべき」と提言しているそうです。そうすると、ますます楽しみな大会になりますね。



(菊池)

発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
 ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
 メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp